

| | | | |
|------|------------|------|----------------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 英語(英会話を含む) | 分割 | 前期6時間 後期7時間 |

| | |
|---|---|
| 教科書 書名(出版社) NEW CROWN 1 (三省堂) NEW CROWN 2 (三省堂) | 副読本 Keyワーク 英語1年、2年 (教育開発出版) 英語の語順ドリル① (正進社) Mileage Reader 1 (いっずな書店) キクジュク (アルク) |
| 目標・ねらい 1 英語の学習を通じて、様々な問題について興味・関心を深め、自らの考え、意見を持つ。 2 自己表現のためのツール(文法、語彙、論理展開)を身に付ける。 3 自己表現の経験を積むことによって、自己表現力を身に付ける。 | |
| 注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 学習方法 (1)授業 ア ペアによる話す活動 イ リスニングやオーラルイントロダクションによる内容把握 ウ 速読による内容把握 エ 新出語彙の発音と意味の確認 → Vocabulary Quiz オ 本文の内容理解と音読 カ 新出文法のルールを理解とそれを使った自己表現 キ レッソンのトピック、新出文法を使った書く活動 ク まとめテスト、パフォーマンステスト、ミニテスト (2)復習 ア 音読 イ 家庭学習プリント ウ Keyワーク・語順ドリル エ 単語リスト オ 授業ノート、自己表現ノート、テスト直しノート 2 長期休暇中の課題 (1)与えられたトピックについてまとめた英文を書く (2)サマーワーク、ウィンターワーク等 (3)キクジュクの例文暗記 | |

評価について

| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
|---------------------|----|----------------------|
| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 10 | 活動への意欲・提出物・単語テストなど |
| 外国語表現の能力 | 40 | 定期テスト・英会話・パフォーマンステスト |
| 外国語理解の能力 | 30 | 定期テスト・まとめテスト |
| 言語や文化についての知識・理解 | 20 | 定期テスト・まとめテストなど |
| | | |

年間授業計画表

| 単元 | 目標 |
|---|--|
| Lesson 1 I Am Tanaka Kumi (1) I am... (2) You are... / Are you...? Lesson 2 My School (1) This is... / Is that...? / This is not... (2) What is this? / It is... (3) She is... / He is... 中間テスト Lesson 3 I Like Soccer (1) I play... / Do you play...? / I don't play... (2) What do you have~? | (1) am / areを理解し、使うことができる。 (2) 自己紹介をしたり、自分の気持ちや状態を伝えることができる。 (1) this / that / he / she / it / what を理解し、使うことができる。 (2) be動詞を正しく使うことができる。 (3) 人や身近なものについて説明することができる。 (1) have / like / play といった一般動詞を理解し、使うことができる。 (2) 一般動詞の否定文と疑問文の作り方を理解し、状況に応じて使うことができる。 (3) 自分の好きなものやことについて説明することができる。 |
| Lesson 4 Field Trip (1) 複数の表現 (2) How many...? (3) Play... / Don't... / Let's... 期末テスト Lesson 5 Our New Friend (1) Who is...? (2) him / her (3) Where do you...? / When do you...? | (1) 複数形や数の尋ね方を理解し、使うことができる。 (2) 命令文を理解し、使うことができる。 (3) 複数のものについて説明することができる。 (4) 環境問題に関心を持つ。 (1) who / where / when / whose などの疑問詞を理解し、使うことができる。 (2) him / herなどの目的格の用法を理解し使うことができる。 (3) クラスメートに関心を持ち、簡単な質問をしあうことができる。 |
| Lesson 6 My Family (1) Miki plays... (2) Does Miki play...? / Miki doesn't play... (3) What / Where / When does Miki...? Lesson 7 Sports for Everyone (1) Koji can play... (2) Can Koji play...? / Koji cannot play... 秋中間テスト | (1) 3人称単数現在形を理解し、使うことができる。 (2) 自分や相手以外の人の状態や動作について質問したり、質問してわかったことを伝えたりすることができる。 (3) イギリスの文化について知る。 (1) 助動詞canを理解し、使うことができる。 (2) 自分や友達のできることについて表現できる。 (3) いろいろなスポーツについて知る。 |
| Lesson 8 School Life in the USA (1) Tom is studying... (2) Is Tom studying...? / Tom is not studying... Lesson 9 Four Seasons (1) Amy played... / Amy went... (2) Did Amy play...? / Amy did not play... 冬中間テスト GTEC | (1) 現在進行形を理解し、使うことができる。 (2) 外国の中学校生活を知り、自分の学校を海外に紹介する英文を書く。 (1) 一般動詞の過去形を理解し、使うことができる。 (2) 過去形を使い、日記や報告文を書くことができる。 (3) 日本の身近な年中行事について関心を高める。 |
| Let's Read Alice and Humpty Dumpty NEW CROWN 2 Lesson 1 Aloha! (1) 過去形の復習 学年末テスト | (1) 物語文を読む。 (2) さまざまな不規則動詞の変化を覚え、使うことができる。 (1) 一般動詞の過去形を復習し定着させる。 |

| | | | |
|------|----|------|-------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 国語 | 一斉 | 4.4時間 |

| | |
|--|--|
| 教科書 現代の国語1年(三省堂) 中学書写1(教育出版) | 副読本 よくわかる中学国文法(吉野教育図書) 漢検 分野別問題集(日本漢字能力検定協会) 論理エンジンOS1(水王舎) |
| <p>目標・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論の構成を意識して読み解くことを通して、文章を論理的にとらえ、書くことができるようにする。 ・小説を分析することを通して、一つのテキストの中にある様々な可能性を引き出せるようにする。 ・古文や漢文に親しむことを通して、いにしえと現代とのつながりについて探究する。 ・論理エンジンや言語技術の学びを通して、物事を論理的に考え伝えるための基礎を身につける。 ・書写の訓練を通して、美しい文字を書けるようにする。 | |
| <p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>学習方法</p> <p>予習</p> <p>教科書の本文を読み、分からない語句の意味を辞書で調べる。</p> <p>授業</p> <p>個人作業→協働作業→個人作業の繰り返しの中で、仲間と一緒に考えながら自己の考えを深め、一つの事柄を探究していくことの楽しさ・喜びを実感できるようにする。</p> <p>復習</p> <p>本文・ノート・プリントを見直し、学習内容を理解できているか確認しておく。</p> <p>関連した本を読むなど読書の興味へつなげる。</p> <p>長期休業の課題</p> <p>毎年、春・夏・冬休みに作文もしくは読書感想文を一篇ずつ課題とする。</p> <p>俳句作り、課題作文等、外部コンクールにも応募する。</p> <p>小テスト</p> <p>漢字テスト・語彙テストなどを定期的実施する。</p> <p>書写</p> <p>毛筆・硬筆併せて、年間10時間程度行う。</p> <p>※学年の状況に応じて単元が前後することがある。</p> <p>※9～10月に集中的に探究学習を行い、授業中の実践や成果物を評価するため、秋中間テストは行わないものとする。</p> | |

| | | |
|-----------------|----|----------------------|
| 評価について | | |
| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
| 国語への関心・意欲・態度 | 10 | 提出物・取り組み方 |
| 話す・聞く能力 | 5 | 授業での発表や対応 |
| 書く能力 | 10 | 長期休暇中の課題作文・単元後の感想文など |
| 読む能力 | 60 | 中間テスト30+期末テスト30 |
| 言語についての知識・理解・技能 | 15 | 漢字テスト10+書写5 |

年間授業計画表

| | | |
|----|--|---|
| | 単元 | 目標 |
| 前期 | 1 オリエンテーション 2 表現活動(探究) 3 詩(探究) 4 物語(探究) 5 論理エンジン 6 言語技術 7 書写 | 1 年間を通じての授業の方針と、ねらい・目標を理解する。クラス・学年の仲間と相互理解を深める。 2 どのようにすれば「良い作文」を書けるか、探究する。 3 詩の表現に着目し、「詩」という表現形式の特性について探究する。 4 登場人物の気持ちの読み取りを、「視点」という観点から考察する。 5 論理について探究するための基礎を学ぶ。 6 物事を論理的に考え、伝えるためのスキルを学ぶ。 7 毛筆と硬筆を用いて、美しい文字を書く。 |
| | 1 説明文(探究) 2 口語文法(探究) 3 百人一首 4 論理エンジン 5 言語技術 | 1 説明文で用いられる論理の組み立て方を理解し、自分でもその組み立て方を利用して論理的な文章をかけるようにする。 2 言葉のきまりの基礎を知る。 3 百人一首(1番～15番)の中から、気に入った一首を選び、その作品の自分なりに解釈し、現代風の「超訳」に挑戦する。 4 論理について探究するための基礎を学ぶ。 5 物事を論理的に考え、伝えるためのスキルを学ぶ。 |
| | 6 小説(探究) 7 書写 | 6 小説の分析方法について学び、それを他のテキストにも応用できるようにする。複数のテキストの共通点や相違点から、小説の構造・構成の在り方について探究する。 7 毛筆と硬筆を用いて、美しい文字を書く。 |
| 後期 | 1 説明文(探究) 2 百人一首 3 口語文法 4 論理エンジン 5 言語技術 6 書写 | 1 説明文に用いられている図表を読み取れるようにする。そして、その文章と図表の対応の仕方から、筆者の考えや考えのもととなる事実を的確に読み取れるようにする。のち、図表を用いた簡単なレポートを作成する。 2 百人一首(16番～30番)の中から、気に入った一首を選び、その作品の自分なりに解釈し、現代風の「超訳」に挑戦する。 3 言葉のきまりの基礎を知る。 4 論理について探究するための基礎を学ぶ。 5 物事を論理的に考え、伝えるためのスキルを学ぶ。 6 毛筆と硬筆を用いて、美しい文字を書く。 |
| | 1 古文(探究) 2 漢文(探究) 3 口語文法 4 論理エンジン 5 言語技術 6 書写 | 1 古文に親しみ、古文の世界の人々のものの考え方や感じ方と「現代とのつながりについて探究する。 2 漢文訓読の基礎を知る。故事成語の成り立ちについて分かりやすく説明するプレゼンテーションをする。 3 用言の活用を理解する。 4 論理について探究するための基礎を学ぶ。 5 物事を論理的に考え、伝えるためのスキルを学ぶ。 6 毛筆と硬筆を用いて、美しい文字を書く。 |
| | 学年末テスト | |

| | | | |
|------|-----------|------|------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 社会(地理的分野) | 一斉 | 3時間 |

| | |
|---|--|
| 教科書 社会科 中学生の地理 (帝国書院) 中学校社会科地図 (帝国書院) | 副読本 新中学問題集社会 地理 I II (教育開発出版) 最新地理資料集総合 (明治図書) |
| 目標・ねらい 日本や世界への関心を高め、地理的な見方や考え方を身につける。 | |
| 注意事項(学習方法・長期休業の課題など) | |
| <p>1 日常の学習</p> <p>(1) 授業では、黒板を写すだけでなく、話の中で必要事項を判断し、記入すること。</p> <p>(2) 上記の授業内容を、いろいろな資料などを使って調べながらノートにまとめること。</p> <p>(3) 学習習慣定着のため、小テスト対策や課題提出は必ず行うこと。</p> <p>(4) 授業進度に合わせてワークの問題を解くこと。</p> <p>(5) 単元によっては、テーマ設定を行い、探究学習を行うこともある。</p> <p>2 長期休業の学習</p> <p>(1) まとまった時間を使って調べ学習を行うこと。</p> <p>(2) 問題集を宿題として、休暇明けに確認テストを行うので、学習内容の定着をはかること。</p> <p>(3) 成績不振者対象の特習には必ず参加すること。</p> | |

| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
|-----------------|----|-----------|
| 社会的事象への関心・意欲・態度 | 10 | 課題・小テスト |
| 社会的な思考・判断・表現 | 20 | 課題・定期テスト |
| 資料活用の技能 | 10 | 課題・ノート提出 |
| 社会的事象についての知識・理解 | 60 | 定期テスト |
| | | |

年間授業計画表

| | 単元 | 目標 |
|----|---|--|
| 前期 | 第1部 世界のさまざまな地域 1章 世界の姿 1 世界の地域構成 2 地球上の位置関係と水陸の分布 3 国々の構成と地域区分 2章 世界各地の人々の生活と環境 1 気候とくらし 中間テスト | ・生活の舞台としての地球を大観し、地球的規模での位置関係をとらえる基礎的な技能や知識を身につける。 ・主な国々の名称と位置を、地図を用いて身につけ、地名への関心を高める。 |
| | 2 文化とくらし 3章 世界の諸地域 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 期末テスト 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 | ・世界の各州を取り上げ、地理的事象を見い出して追求し、地域的特色をとらえる。 ・収集した資料から適切な情報を読み取るとともに、適切に整理し表現する力を養う。 ・国家における国内の地域差などに注目するとともに、日本を含めた他国との比較、結びつきといった視点を世界全体に広げる。 |
| 後期 | 6 オセアニア州 秋中間テスト 第2部 日本のさまざまな地域 1章 日本の姿 1 日本の位置と領域 2 都道府県の構成と地域区分 冬中間テスト | ・わが国の国土の位置および領域の特色と変化を広い視野から考察し、日本の現状と位置を領域の面から大観する。 ・日本の地域構成を地図上で大観し、地名や地図への関心を高める。 ・世界視野から見て、人口密度や平均寿命、過密・過疎などの地域差があることを大観する。 ・資源やエネルギーに恵まれていないこと、土地の高度利用、産業が盛んであることを理解し、環境やエネルギー問題を抱えていることを大観する。 |
| | 2章 世界と比べた日本の地域的特色 1 自然環境 2 人口・資源 3章 日本の諸地域 1 九州地方 2 中国・四国地方 3 近畿地方 4 中部地方 5 関東地方 6 東北地方 7 北海道地方 学年末テスト | ・8地方を7ブロックに分けて全て取り上げ、地理的事象を見いだして追求し、地域的特色をとらえる。 |

| | | | |
|------|----|------|------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 数学 | 分割 | 4時間 |

| | |
|---|-------------------------|
| 教科書 中学校 数学1 (数研出版) | 副読本 数学の学習ノート 1年(正進社) |
| <p>目標・ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負の数の概念や代数学の意義を理解し、正負の数の四則計算や文字式の基礎を培う。 ・比例や反比例から、数量の関係を表現し考察する。 ・平面図形や空間図形について学び、論理的に考察する。 | |
| <p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>○定期試験について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 授業内容を中心に出題する。 (2) 下記DNテストの内容を含む問題を出題する。 (3) 試験当日に、問題集を提出すること。 <p>○その他のテストについて</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 章末テスト : 各章が終わる度に実施する振り返りテスト 合格点70点 (2) 再テスト : 章末テストの再テスト 合格できるまで再テストや補習を受け続ける。 (3) MN テスト : 日々の授業内容を確認する毎日テスト (4) DN テスト : 学習済み内容を自宅で振り返る土日テスト (5) TDN テスト : 学力テスト前に再確認をするDNテストの総まとめテスト <p>○日々の学習について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 予習として、「教科書の例題を読む」と良い。ファイルを整理する。 (2) 復習として、「その日のうちに問題集を解いて まる付けと間違い直し」をする。 (3) 入学前と長期休暇の宿題はワークやプリントが配布される。 (4) 各教室に置いてある「数学検定の完全対策問題集(日本実業出版)」を自由に活用する。 (5) 希望者に問題集「STEP演習(数研出版)」を販売する。各自のペースで取り組むこと。 | |

評価について

| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
|-------------------|----|--------------------|
| 数学への関心・意欲・態度 | 20 | 提出物・DNテスト |
| 数学的な見方や考え方 | 60 | 定期テスト 年5回 |
| 数学的な表現・処理 | 10 | 章末テスト・TDNテスト・学力テスト |
| 数量・図形などについての知識・理解 | 10 | MNテスト・課題 |
| | | |

年間授業計画表

| | 単元 | 目標 |
|----|---|--|
| 前期 | 第1章 正の数と負の数 正の数と負の数 加法と減法 乗法と除法 いろいろな計算 中間テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った分数や小数の四則計算ができる。 ・負の数の意味を理解する。 ・いろいろな数量を、正負の数を用いて表す。 ・正負の数の四則計算に習熟する。 |
| | 第2章 文字と式 文字と式 文字式の計算 第3章 1次方程式 1次方程式 1次方程式の利用 不等式の性質 期末テスト 第4章 比例と反比例 比例・反比例 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな数量を文字式で表す。 ・1次式の加減乗除に習熟する。 ・数量の等しい関係を等式で表す。 ・1元1次方程式を解く。 ・具体的な問題を、1元1次方程式を用いて解決する。 ・連立不等式を解く。 ・数量の関係を表す式を理解する。 |
| 後期 | 比例と反比例の利用 秋中間テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象を比例・反比例で考察し、式や表またはグラフに表す。 |
| | 第5章 平面図形 平面図形 作図 円とおうぎ形 三角形の外心・内心 冬中間テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・線対称、点対称な図形や基本的な作図を学ぶ。 ・用語、記号などを理解する。 ・扇形の弧の長さや面積を求める。 ・外接円と内接円を作図する。 |
| | 第6章 空間図形 立体の切断 立体の表面積と体積 第7章 資料の整理とその活用 資料の整理とその活用 学年末テスト | <ul style="list-style-type: none"> ・柱体・錐体・球の表面積や体積を求める。 ・資料の特徴を調べるために表やグラフに整理し、その傾向を読み取る。 ・身のまわりの問題について、資料を整理しその特徴について思考・表現する。 |

| | | | |
|------|----|------|----------------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 理科 | 一斉 | 前期2時間 後期3時間 |

| | |
|--|--|
| 教科書 未来へひろがるサイエンス 1 (啓林館) | 副読本 中学の理科第1分野・第2分野 (教育開発出版) 中学 詳説 用語 & 資料集 理科 (受験研究社) |
| 目標・ねらい ・自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度とともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。 ・実験観察を通して、自然の事物・現象に興味をもち、科学的な知識と探究心を育てる。 ・基本的な事項をしっかりと身につけ、科学的思考とそれを表現する力を育てる。 | |
| 注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1学習方法 (1)授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。 (2)復習を重視し、小単元ごとに問題演習を行う。 (3)実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。 2家庭学習 (1)学校からの課題を行う。 (2)定期試験に向けた学習計画を立て実行する。 (3)夏休みには、課題と理科に関する自由研究を行う。 3授業 実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。 | |

評価について

| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
|----------------|----|-------------------|
| 自然事象への関心・意欲・態度 | 10 | 授業態度、提出物 |
| 科学的な思考・表現 | 20 | テスト、提出物 |
| 観察・実験の技能 | 10 | ノート、実験観察や実習などの提出物 |
| 自然事象についての知識・理解 | 60 | 定期テスト |
| | | |

年間授業計画表

| | 単元 | 目標 |
|----|--|---|
| 前期 | 物質 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 中間テスト | ・物質の性質を利用して、物質を区別する方法を理解し、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身につける。 ・気体の性質を利用して、気体を区別する方法を理解し、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 |
| | 物質 身のまわりの物質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化 期末テスト | ・水溶液の性質を利用して、物質を区別する方法を理解し、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて考える。 ・物質の状態変化を利用して、物質を区別する方法を理解し、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだす。 |
| 後期 | 地球 活きている地球 1章 大地がゆれる 2章 大地が火をふく 3章 大地は語る 秋中間テスト | ・さまざまな火山の活動を調べ、マグマの性質が深く関係していることを考察するとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、観察を通して理解する。 ・地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解するとともに、震央・震源の分布をプレートの動きと関連づけて理解する。 ・地層を構成する岩石や化石を手がかりとして、地層が堆積した時代や当時の環境を推測する。 |
| | エネルギー 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 冬中間テスト | ・光の反射や屈折の実験を行い、物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。また、凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きとの関係を見いだす。光の性質を知り、光の進み方を作図ができる。 ・音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ、音の大きさや高さは発音体の振動のしかたに関係することを理解する。 |
| | 3章 力による現象 学年末テスト | 物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見いだすとともに、力は大きさと向きによって表されることを理解する。また、圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだすとともに、水圧や大気圧の実験を行い、その結果を水や空気の重さと関連づけてとらえる。 |

| | | | |
|------|-----------|------|-------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 理科2分野(生物) | 一斉 | 前期2時間 |

| | |
|--|--|
| 教科書 未来へひろがるサイエンス 1 (啓林館) | 副読本 中学の理科第2分野(教育開発出版) 中学 詳説用語&資料集 理科 (受験研究社) |
| 目標・ねらい ・自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度とともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。 ・実験観察を通して、自然の事物・現象に興味をもち、科学的な知識と探究心を育てる。 ・基本的な事項をしっかりと身につけ、科学的思考とそれを表現する力を育てる。 | |
| 注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1学習方法 (1)授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。 (2)復習を重視し、小单元ごとに問題演習を行う。 (3)実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。 2家庭学習 (1)学校からの課題を行う。 (2)定期試験に向けた学習計画を立て実行する。 (3)夏休みには、課題等を行う。 3授業 実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。 状況に応じて、シラバスの内容を変更して授業を実施することがある。 | |

| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
|----------------|----|-------------------|
| 自然事象への関心・意欲・態度 | 10 | 授業態度、提出物 |
| 科学的な思考・表現 | 20 | テスト、提出物 |
| 観察・実験の技能 | 10 | ノート、実験観察や実習などの提出物 |
| 自然事象についての知識・理解 | 60 | 定期テスト |
| | | |

年間授業計画表

| | 単元 | 目標 |
|----|--|---|
| 前期 | 生命 植物のくらしとなかま 1章 花のつくりとはたらき 2章 水や栄養分を運ぶしくみ 中間テスト 2章 水や栄養分を運ぶしくみ 3章 栄養分をつくるしくみ 4章 植物のなかま分け 期末テスト | ・いろいろな花の観察を行い、花の基本的なつくりの特徴を見いだすとともに、それらを花のはたらきと関連づけて捉える。 ・いろいろな植物の根と茎の観察を行い、基本的なつくりの特徴を見いだすとともに、植物体内の物質の移動と関連づけて捉える。 ・葉の観察を行い、葉のつくりの特徴を見いだすとともに、それらを光合成に関する実験結果と関連づけて捉える。 ・花や根・茎・葉の観察記録に基づいて、それらを相互に関連づけて考察し、植物が体の特徴に基づいて分類できることを見いだす。 |
| 後期 | | |

| | | | |
|------|----|------|-------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 音楽 | 一斉 | 1.3時間 |

| | |
|---|-----------|
| 教科書 中学生の音楽 1年 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) | 副読本 なし |
| 目標・ねらい ・音を使って、自分を表現する喜びを味わい、豊かな人間性を養う。 ・演奏や鑑賞を通して、他と協力して一つのものを作り上げる喜びを体験する。 ・演奏を聴きあい、互いの理解を深める。 | |
| 注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ・授業の進度により課題の出る場合がある。 ・各種コンクール等への自主参加は自由。 | |

評価について

| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
|--------------|----|---------------------|
| 音楽への関心・意欲・態度 | 30 | 課題への取り組み方・定期テスト・平常点 |
| 音楽表現の創意工夫 | 20 | 実技テスト |
| 音楽表現の技能 | 40 | 実技テスト |
| 鑑賞の能力 | 10 | 鑑賞プリント |
| | | |

年間授業計画表

| | 単元 | 目標 |
|----|-------------------|--|
| 前期 | 校歌・若い力 | ・身近な曲を通して歌唱の基礎を学び、元気よく歌おう。 ・曲の流れにのって明るい声で歌おう。 ・基本的な音符等の意味を理解しよう。 |
| | 心を伝え合う歌い方を求めて(歌唱) | |
| | 音符・休符・記号 | |
| | 情景と音楽の関わり(鑑賞) | ・曲の構成にきをつけながら、曲想の変化を感じ取って聴こう。 |
| 後期 | アルトリコーダー | ・基本的な奏法や運指を覚え、他と協力して聴きあいながら演奏しよう。 ・互いに聴きあいながら演奏しよう。 |
| | 実技テスト | |
| | 期末テスト | |
| | 詩と音楽との関わり(歌唱) | ・詩や曲の雰囲気合った声で、言葉を大切に歌おう。 ・フレーズの特徴を生かした表現を工夫しよう。 |
| 後期 | ハーモニーの美しさ・楽しさ | ・曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って合唱しよう。 |
| | 物語を歌で表現する芸術(鑑賞) | ・詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取ろう。 |
| | 箏曲 | ・日本の楽器を実際に演奏することで、日本の伝統音楽に興味をもとう。 ・表現する楽しさを感じよう。 |
| | 実技テスト | |
| | 学年末テスト | |

| | | | |
|------|----|------|-------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 美術 | 一斉 | 1.3時間 |

| | |
|---|--------------------|
| 教科書 美術1 (光村図書) | 副読本 ウォッチ2 (正進社) |
| <p>目標・ねらい 表現、鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創作活動の喜びを味わい楽しむ心情を育て、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし豊かな情操を養う。</p> | |
| <p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、タブリエを持参すること。 ・授業の進捗により課題の出る場合がある。 ・各種コンクールへの参加は自由。 <p>〈夏期休業の課題〉 教科書のなかにある作品から、好きな作品を1つ選び、レポートを書く。</p> | |

評価について

| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
|--------------|----|-----------------------|
| 美術への関心・意欲・態度 | 20 | 提出物(10) 平常点・定期テスト(10) |
| 発想や構想の能力 | 30 | 提出物 ・定期テスト |
| 創造的な技能 | 30 | 提出物 ・定期テスト |
| 鑑賞の能力 | 20 | 平常点(10) 定期テスト(10) |
| | | |

年間授業計画表

| | 単元 | 目標 |
|----|-------------------|---|
| 前期 | 鉛筆画 モノクロ線画 | ・画材の特性を学び、自分の意図にあった表現を探る。モノクロでの表現を知る。 |
| | 混色について 自由画(混色) | ・色と光の三原色を学ぶ。 ・混色の方法と、道具の使い方を習得する。 |
| 後期 | レタリング 絵文字を描く | ・楽しく情報を伝えるためのデザインの必然性を考える。 ・書体(明朝体、ゴシック体)について学びを深め、文字の形や意味から自由に発想を広げる。 |
| | 色彩構成 ソリッドカラー | ・色の仕組みや、色の3属性の学習をし、それを活かした画面構成を考える。 |
| 後期 | 塑像 紙粘土 | ・身近にあるものを見つめ直し、特徴や美しさを見出す。 ・立体による写実表現のなかで、材料の特性を活かしながら、質感や形、色をとらえる。 |
| | 鑑賞 抽象画 | ・色や形から、感じたことを言葉にし、他者と共有する。 |
| | 版画・抽象画 まわし版画 | ・音楽から、イメージを広げ抽象的な表現の可能性を考える。 ・版画の特徴を理解し、それを活かした構成をする。 |
| | 学年末テスト | |

| | | | |
|------|------|------|------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 保健体育 | 一斉 | 3時間 |

| | |
|---|------------------------------|
| 教科書 新中学保健体育 (学研) | 副読本 中学体育実技 2019 (横浜市版 学研) |
| <p>目標・ねらい (保健)中学生の心身の発育と発達について理解する。 (体育)各種の運動の合理的な実践を通して、課題を解決することにより運動の楽しさや喜びを味わうとともに運動技能を高めることができ、生活を明るく健全にする態度を育てる。</p> | |
| <p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>見学の取り扱い ・自分の体調を考えながら可能な範囲で参加をし、できるだけ見学はしないこと。 ・見学届は事前に提出すること。</p> <p>体操服をきちんと着用すること。</p> <p>怪我の防止のため、準備運動を徹底すること。</p> <p>※合気道では道着を購入してもらいます。</p> | |

評価について

| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
|--------------------|----|--------------------|
| 運動や健康・安全への関心・意欲・態度 | 10 | 積極性、協力性、安全への配慮、提出物 |
| 運動や健康・安全についての思考・判断 | 10 | 授業内での状況判断、創造性、提出物 |
| 運動の技能 | 50 | 実技テスト |
| 運動や健康・安全についての知識・理解 | 30 | 期末テスト |
| | | |

年間授業計画表

| | 単元 | 目標 |
|----|---|---|
| 前期 | 体育祭関係 ラジオ体操第2 行進 競技の説明・練習 陸上競技 短距離・リレー バレーボール | ・集団の中での役割を自覚し、行動できるようになる。 ・スタートの方法を理解する。 ・正しい姿勢、美しいフォームで走る。 ・リレーのタイムを上げるためにテークオーバーゾーンの使いかたに着目した探求をおこなう。 ・オーバーパス・アンダーパスを習得する。 ・相手コートにサーブを入れる。 ・パスでゲームを楽しむ。 |
| | 水泳 | ・プール、海、川での事故とその防止法について理解する。 ・ |
| | 保健 | ・中学生のからだの発達と健康を理解する。 |
| | 期末テスト | |
| 後期 | バスケットボール | ・基本的なパスやドリブル、シュートを習得し、簡単なゲームが展開できる。 |
| | マット運動 | ・前転、後転、開脚前転、開脚後転、頭倒立、倒立、倒立ブリッジ(発展:側転、倒立前転) ・目標とする技のポイントを理解し、習得するまでの段階を踏んだ練習方法を探究する。 ・運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする |
| | ダンス | ・リズムに合わせて楽しく体を動かすことができる。 ・仲間と協力することにより可能になる表現方法を探究する ・リズムに合わせて用具を動かすことができる。 |
| | 合気道 | ・礼法、構え、足捌き、受け身を身に付ける。 ・逆半身片手取り角落とし ・演武 |
| | 保健 | ・中学生の心の発達と健康を理解する。 |
| | 学年末テスト | |

| | | | |
|------|-------|------|------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 技術・家庭 | 一斉 | 2時間 |

| | |
|---|-----------|
| 教科書 技術・家庭 (開隆堂) | 副読本 なし |
| <p>目標・ねらい 生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を身につける。</p> | |
| <p>注意事項(学習方法・長期休業の課題など)</p> <p>1 プリント、課題などは必ず提出すること。また、製作物が未完成の場合は、採点の対象にならないので注意すること。</p> <p>2 調理実習では、班で作業することも考え、なるべく欠席のないよう体調管理に注意すること。</p> <p>3 被服実習では、製作途中の課題を家庭に持ち帰ることは認めていない。欠席や作業の都合で、授業時間中に完成できなかった場合は、放課後の補習に参加し、完成させること。</p> <p>4 長期休業中には、家庭での実践を含めたレポート等の課題がある。</p> | |

評価について

| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
|-----------------|----|----------------------|
| 生活や技術への関心・意欲・態度 | 20 | 授業・課題への取り組み状況 |
| 生活を工夫し創意する能力 | 10 | 製作物、プリントや課題の内容 |
| 生活の技能 | 20 | 製作物、実技テスト、プリントや課題の内容 |
| 生活や技術についての知識・理解 | 50 | 小テスト、定期テスト |
| | | |

年間授業計画表

| | 単元 | 目標 |
|----|---------------|---|
| 前期 | 衣生活と自立 | 衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。 既製服を選ぶために必要なサイズや取扱い絵表示の見方を理解し、衣服の適切な選択ができる。 |
| | 生活を豊かにする物をつくる | 製作を通じ、技術を活用して物を作り上げる喜びを味わう。 |
| 後期 | 身近な消費生活と環境 | 自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。 自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できる。 |
| | 日常着の補修 | 衣服のいたみ具合に合わせた方法で補修ができる。 |
| | 食生活と自立 | 自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康のためのより良い食習慣について考える。 |
| | 期末テスト | 栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考える。 |
| | 学年末テスト | 食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量を知る。 安全と衛生に留意し、食品や調理器具の適切な管理ができる。 |

| | | | |
|------|----|------|------|
| 履修学年 | 教科 | 授業形態 | 週時間数 |
| 中学1年 | 宗教 | 一斉 | 1時間 |

| | |
|--|-----------|
| 教科書 聖書 新共同訳続編つき (日本聖書協会) | 副読本 なし |
| 目標・ねらい ・学園の建学の精神に触れ、キリスト教の基礎的な知識を身につける。 ・キリスト教の歴史を理解する。 ・聖書に触れ、神のメッセージを学ぶ。 ・生徒一人ひとりが神に愛されていることを実感させる。 | |
| 注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ・聖書のみことばと、現代社会の諸問題を関連付けながら、学ぶように導く ・修養会などの宗教行事についての事前の準備と、事後の振り返りを行う。 ・修養会ノートの提出や、課題に対するレポートを定期的に課す。 ・夏休みには読書感想を書く。(宗教書などの指定は適宜行う) | |

評価について

| 観点 | 割合 | 授業時における項目 |
|-----------------|----|-----------------|
| 宗教への興味・関心 | 20 | 提出物・修養会ノート |
| キリスト教についての知識・理解 | 60 | 期末試験 |
| キリスト教的価値観を表現する力 | 20 | 課題・レポート(読書感想など) |
| | | |
| | | |

年間授業計画表

| | 単元 | 目標 |
|----|--|--|
| 前期 | ・学園と創立修道会であるアトメントのフランシスコ会について知る ・「祈り」について ・聖書の歴史と構成について学ぶ | ・アトメント会と勝野初代学園長神父による学園創立の背景を理解する。 ・神と対話である祈りについて理解する。 ・学校生活で唱える祈りを理解し、覚える。 ・聖書が一冊の書物ではなく、神の救いの歴史を記したものであることを理解する。 |
| | ・キリスト教の歴史(旧約から現代まで)を知る ・聖母月や復活祭などの教会の暦と行事を知る (1)聖週間 (2)復活祭 (3)母月 (4)聖霊降臨など 期末テスト | ・アブラハムの召命から現代までの教会の歴史を理解する。 ・季節や月ごとの宗教的な行事や典礼を示し、理解する。 |
| 後期 | ・旧約聖書の物語を学ぶ (1)創世記における万物の創造 (2)アダムとイヴの物語 (3)アブラハムの召命 (4)イサクからヤコブまで | ・神の愛と、人間の自由について考える。 ・アダムとイブ＝原罪＝自由＝愛。 ・ユダヤ・キリスト・イスラム教の祖とされるアブラハムについて、その背景や信仰心について理解する。 |
| | ・「出エジプト」 ・モーセの誕生 ・イスラエルの民の「出エジプト」 ・「十戒」 学年末テスト | ・「救い歴史」を一つの流れの中で理解させる。 ・十戒を理解し、覚える。 |